

大阪自治労連 関連評議会 均等待遇実現キャラクター「てんびんちゃん」グッズ完成

大阪自治労連関連評議会では、この2007年春闘で、均等待遇実現をはじめとした活動やとりくみに役立てようと、キャラクター「てんびんちゃん」を作成してきましたが、いよいよキャラクターグッズが完成しました。

グッズは、「てんびんちゃん」携帯クリーナー＆「てんびんちゃん」シールで、ふたつ

あわせて1セットです。「てんびんちゃん」シールは大中小17シールが1枚になっています。グッズには「仕事の中身同じなら権利もお金もみんな同じ」のスローガンがはいっています。

グッズの注文・問い合わせは、大阪自治労連関連評議会（担当・西垣優子）まで。



ニュース 笑アラフ



書記局ミニにゅ～す

「パソコン機関紙講座」を開催

大阪自治労連では、3月10日に、大阪市中央区の産業創造館のパソコン研修室で、「パソコン機関紙講座」を開催しました。機関紙協会大阪府本部の協力をえての今回の講座では、ワードの機能をつかっての機関紙・新聞づくりに励みました。朝から夕刻まで1日の講座で、参加者はそれなりの

作品のできばえにうなづいていました。「ワードでできる範囲を知って、さらに他の編集ソフトを使って挑戦してほしい」と、講師の弁。

大阪自治労連では、引き続き、定期的に「パソコン機関紙講座」を開催していく予定です。



新語

「千の風になつて」

テノール歌手の秋川雅史さんが歌う「千の風になって」がいま大ブレーク中です。昨年末のNHK紅白歌合戦で歌つてから今年に入つてから大ヒットしています。「私のお墓の前で泣かないでください…千の風になつて吹きわたつて」のフレーズがさわやかにひびきます。いのちの永遠、再生へのやさしいメッセージです。原詩は作者不詳の英語詩ですが、2003年に作家の新井満さんが訳詩と作曲しました。

十番勝負

つどいでは川崎美栄子さんが講演しました



改悪で、国は医療保障に対する責任を大きく後退させ、医療費の引き上げ、などで8兆もの削減を狙つてゐること、国が医師の確保に真剣にとりくまない結果、勤務医が過酷な労働実態に耐えられないとどんどん辞め、地域医療が崩壊している実態を指摘し

「あらためて公的病院のありかたを考える」つどい

2月17日(大阪市中央区)エルおおさか

「分科会」「シンポジウム」「つどい」つぎつぎ開催



シナリオは、構造計算を審査する機関の新設、罰則の強化など法改正を行ったが、事態の解明と問題の根本的な解決にはまだほど遠いのが実情だ。政府の審議会では建築確認の民間開放を『合理的な政策選択であった』と評価している。事件が発覚しても行政のしくみは変わっていない。あらためて『建築確認は公の業務である』といいう最高裁判決(2005年)をふまえ、民間機関を適正に管轄する国・自治体のチェック機能を強化することが必要だ」と指摘しました。

シンポジウムで、問題提起をした片方信也さん(かたがた・しんや)／日本福祉大学教授は「震災偽装事件の本質は市場原理主義による建築行政の変

「耐震偽装と建築行政のありかたを考える」シンポジウム

3月3日(大阪市中央区)OMMビル会議室

シンポジウムには建築関係者、自治体職員、国家公務員、マンション住民、研究者、議員など95人が参加しました。ビデオで出演した平賀秀さん(たいら・みつひで)は、震災偽装問題の発端となったマンションの住民は、二重ローンなどで苦しむ被害の深刻な実態について述べ、責任をとろうとしている国対応を厳しく批判しました。

欠陥住宅被害者全国連絡協議会幹事長の吉岡和弘弁護士が講演し、アメリカのカリフォルニア州では、登録された建築の専門家であるインスペクター(検査官)が、民間の建築現場をチ

新語

労働
ビッグバン

「ビッグバン」とは、宇宙を形作った大爆発理論のこと。この意味から転じて、既成の価値や事象を大爆発したように粉々に破壊してしまうことを「○○ビッグバン」とマスコミでは呼んでいます。労働ビッグバンは、いま政府・財界が進めている「残業代をゼロに」「偽装請負を合法化」「首切りを自由に」など、労働法制を根本から破壊する政策や法制度づくりを指しています。いま画策している、残業代を支払わなくともいい「ホワイトカラー・エグゼンプション」もそのひとつです。